

ぼくにとっての睡眠

大田区立山王小学校 五年 山口 晃弘

ぼくにとって睡眠とは、一日の疲れをとる、次日の元気を充電してくれるものです。そして、ぼくの家では、家族全員が一つの部屋に布団をしりて寝ているので、家族一緒にいたりう安心感があります。以前妹が生まれるとき、祖父母の家に預けられ、なかなか眠れず、やつと眠れたと思つたら怖い夢を見てしまつてあまり眠れませんでした。ひも、妹

が夜中にどんなに泣いていても、ぼくは、ぐっすり眠れます。

また、眠ると頭の中が整理されます。ぼくが中国の小学校に通ついた時、毎日計算、漢字、英語の他に暗記の宿題がでていました。暗記以外は、やれば終わるのに暗記だけは、何時間やつても覚えられずに夜十時を過ぎてしまつたことがあります。どうしても眼くて次の日も学校があるたので、諦めて寝て次の朝目が覚めたら、頭の中に前の日覚えた文章

が浮かんできて、急いで母にテストしてもら

たら、すると、

「完璧に覚えられていろよ。」

と言、てもらいました。学校でのテストも無車合格できました。

その日からは、暗記の宿題は、寝る前にやること、ある程度覚えたから寝てしま、て、翌朝チエックするよ、うにしました。お陰で本を一冊覚えることができました。

そして、今も受験勉強で理科や社会などの

覚えることが多い科目は、寝る前にやることにして、います。

さらに、たゞ、ぶり睡眠をとると、いやなことも忘れ、新しく一日を前向きに過ごすことができます。

友達とけんかしたとき、言われた言葉に傷ついて、(もう顔も見たくなり)絶交だ。と思つても悪か、たと思えるようになります。そして友達のことを持せ、自分から謝れるようにな

ります。

だから、睡眠をとるということは、いいことかい」はいあつて心身ともに健康に過ごすことができます。昔から寝る子は、育つといわれているけれど、色々な意味で寝ることは人間にとつて大事だと思いました。

睡眠バンザイ!!